

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
3 子どもは読書習慣がついている	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が読み聞かせを積極的に行う。 ・週1回、図書室を利用する。 ○週末家庭読書を実施する。 ・学期ごとに、教室の本を入れ替える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○月2～3回程度、定期的に図書室を利用し本を持ち帰させる。 ・週1回、朝の読書を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○週末読書を必ず行う。 ・読んだ本の感想を日記に書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎週木曜日に本を借りて持ち帰らせる。 ・2週間に1度読み聞かせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水曜日の石小タイムを「朝の読書タイム」として全校で取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭読書の課題を出し、保護者と連携する。 ・図書室の本を充実させる。
4 子どもは学習用具の準備がきちんとできている	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的にお道具箱や筆箱の整理整頓をさせ、教師が確認する。 ・学年通信等で知らせ、家庭と協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年通信、連絡帳で家庭と連携する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●箱型の筆箱を継続して使わせ、中身を確認する。 ・学習に必要なものが前日までに準備できていない児童には家庭連絡する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●週末の帰りの会で、机の中やお道具箱の点検をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机の上に次の時間の用意をしてから終りの挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の学習の準備を徹底させる。
5 子どもは毎日(10分×学年)分間以上家庭学習をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・内容理解の個人差が大きいので個別指導の時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20分以上かかる宿題を出す。(継続) ・課題をていねいにするように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆家庭学習30分間の練習をする。 ・課題をていねいにする習慣をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学習時間の意識をもたせる。(毎日記録する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の時間に合わせて宿題の量を調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主勉強を自主的に行うよう工夫する。
10 学校や子どもの様子を家庭によくわかるように伝えている	<ul style="list-style-type: none"> ・学年通信の内容を精選する。 ※連絡帳をさらに活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに学校での様子を載せる。 ※「今日の出来事」を日記に書いて、おうちの人の前で音読させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ※連絡帳にその日頑張っていたことを書いて知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を実施した後、内容を記事にして学年通信で知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ※タブレットを家庭に持ち帰ったときに、保護者に活動内容を見せる。(写真や制作物など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年通信の内容の改善を図る。 ※学習の様子をわかってもらうために、保護者にノートを見せよう。

【各学年の方策 → まとめ → 提案】

3 ○ 図書室を計画的に利用し、週末に家庭読書の課題を出す。(家庭と連携して読書活動を推進する。)

水曜日の石小タイムは読書の時間(全校)、木曜日の昼休みの読書タイム(高学年)を継続。

4 ● 週末に机の中、お道具箱の整理を習慣づける。 次の時間の準備の徹底。(SWPBSとして全校で取り組む。)

5 ☆ 学習時間を意識させる。(学習時間の記録) 内容、量などを考えて宿題を出す。(継続)

10 ※ 連絡帳を活用し、タイムリーに家庭に知らせる。 学年通信の内容を見直す。